



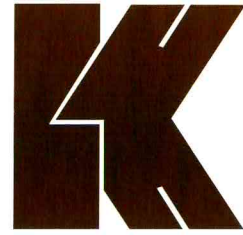
京都市立桂坂小学校



校 旗



校 章



作 細谷 僚一

校章の意味

桂坂のイニシャルKをデザインし、その中にたくましく坂を登っていく子どもたちの姿と、大空を自由に飛翔する鳥を表しています。

たくましさと自由な精神を象徴しています。

京都市立桂坂小学校 校歌

松尾 隆夫 詞 校閲
月溪 宏 校閲
福澤 昌彦 曲

♪ はずんで

1. か つ ら の な み き と り の う た
2. み ど り の か ゼ を か て と し て
3. わ か た け の ま ち ら く き い に

ゆ め ほ ふ く ら む ま な び や よ
か れ き し を か た る お お ー が く ま



一、かつらの並木
鳥のうた
夢はふくらむ
まなび舎よ
友と肩くみ
輪になつて
桂坂
すくすく伸びよう

二、みどりの風を
糧として
かよう心の
通学路
真理の道は
とおいけど
桂坂
たゆまず上ろう

と も と か た く み わ に な つ て
ま わ こ た し と み ち は と お の ー い け せ う

三、わか竹のまち
洛西に
歴史をかたる
大枝山
わたしとほくの
この理想
世界を翔けよう
桂坂

す く す く の び よ う か つ ら ー か
た せ か ま い を の ぼ ろ う か つ ら ー か
か せ か ま い を の ぼ ろ う か つ ら ー か



校地面積 25,490㎡
 建物敷地面積 15,330㎡
 運動場面積 10,160㎡

区分	構造	室数	面積	区分	構造	室数	面積
校舎	管理棟	鉄筋コンクリート(2階)	7	屋内体操場	鉄筋鉄骨造(1階)	5	960㎡
	特別教室棟	鉄筋コンクリート(2階)	17	給食棟	鉄筋コンクリート(1階)	1	219㎡
	普通教室棟(東西)	鉄筋コンクリート(2階)	22	倉庫棟	鉄筋コンクリート(1階)	1	26㎡
	普通教室棟(東西)	鉄筋コンクリート(2階)	3	ブール	鉄筋コンクリート		25m×12m

桂坂小学校沿革

昭和63年1月14日 桂坂自治会設立準備委員会から校名要望書提出
 昭和63年3月25日 京都市会にて京都市立桂坂小学校設置条令可決
 昭和63年4月1日 京都市立桂坂小学校開設準備室の設置
 昭和63年5月19日 造成工事、建築工事着工
 昭和63年7月5日 開校準備委員会発足
 平成元年4月1日 京都市立桂坂小学校として開設

*児童数354名 12学級

平成元年4月5日 開校式 記念式典挙行
 平成元年8月31日 観察池、禽舎完成
 平成元年10月31日 屋外ランチルーム完成
 平成元年10月31日 アスレチック場完成
 平成2年2月21日 フレアスポーツ報告会開催
 平成2年5月 京都市教育委員会協力指導教育研究推進校に指定(平成2・3年度)

平成3年5月11日 栽培活動の花壇完成
 平成3年8月31日 運動場屋外手洗場完成
 平成4年2月5日 協力指導研究発表会
 平成4年12月1日 ミニ図書室完成(オレンジルーム)
 平成6年1月10日 野外炊飯活動用具整備
 平成6年12月7日 T T授業実践研究発表会
 平成7年6月16日 福祉協力校指定(平成7～9年度)
 平成8年6～12月 日教研教授による授業(5～6年生)開始 *以後現在まで継続

平成10年4月1日 育成学級(やまゆり学級)設置
 平成10年9月29日 地域教育推進協力校指定(10～11年度)
 平成11年2月5日 自主研究発表会開催
 平成11年8月26日 「地域教育フォーラム・イン・京都」で提案
 平成11年9月19日 桂坂ふれあいルーム開設
 平成11年10月29日 自主研究発表会開催

*10月現在 児童数860名 25学級



桂坂小学校 校長
角垣 健美

子どもたちのふるさと桂坂

ふるさとの自然や人は人生にとってかけがえのない大切なものです。大人になって何か挫折しそ
うになったときに、ふと甦って生き抜く力を与えてくれるのはふるさとのよき思い出です。

ふるさとの山・夕やけ空・星のきらめき等々一人ひとりの思い出がいっばいつまった自然や人。
子ども心に感動を与えてくれたふるさとが、どんなにか人の心をいやすことでしょう。

さて、国家百年の計は教育と言われますが、桂坂小学校の百年の計は「ふるさとづくり」である
と確信しています。鮎が育った川に戻ってくるように、小学校を巣だつた子どもたちが、いつかさ
つと桂坂に戻ってくれるように、ふるさとづくりをするのが桂坂小学校教育の使命と考えています。

そのためには、学校と地域が連携し、協力し合つて、「桂坂の子」として育てていくことが大切
ではないでしょうか。

これからは、小学校だけが学校ではなく、地域の自然や人も学校だと考え、地域の中で学び育つ
ていくことができれば、桂坂の子どもにとってどんなにかすばらしいことではないでしょうか。

幾とせか この草原を 拓き住み

実る葡萄に ああ夕あかね



ステンドグラス

デザイン 相田 武彦

直径7m半円(1), 直径1.5mの円(2)

ここには、自然の中での躍動が表現されています。太陽、風、草花、虫。自然のあたたかさ
と厳しさの中で健やかに育てとの願いがこめられています。



鍛 張



自然豊かな中で発展する桂坂ニュータウン。ここで、助け合い、励まし合いながら成長し活動するこどもたち。未来に向かって伸びゆく桂坂を1年～6年の子どもたちの姿で表しています。

歴代校長挨拶

開校当時を振り返って

初代校長 中西 一孝



創立十周年を迎え、お祝い申し上げます。
開校八か月前に準備室長に命ぜられ「新年度より授業が開始できるように」との指示を受けて着任しました。

初めて目にした広大な敷地、そこには基礎工事のうえに鉄骨が林立している状態でした。児童の転入予定者調べから始め、各教科の教具購入計画、図書、掃除用具等、学校生活に支障のないよう準備を進めました。

開校準備委員会には、校歌、校章など多岐にわたるご協力を受け開校できました。

開校当時は、異った地域で育ち、生活習慣・伝統の異った児童のよいところを取り入れよき桂坂校の伝統を創造するため、児童・教職員が力を合わせて努力しました。

地域の方々、PTAの皆様には一体となって桂坂校の発展にご尽力いただいたことにお礼申し上げます、十年の半分を務めさせていただいた事に感謝しております。

次なる二十周年、三十周年に向かい、益々の発展を願っています。

すばらしい出会い、桂坂

第二代校長 寺内 敦子



桂坂小学校創立十周年、おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

私自身は校長としての第一歩、桂坂小学校校長として、平成六・七年度在職いたしました。自然と人と街が一体となり、前進する桂坂の印象が、今も鮮明に蘇ります。

一年目は、市内児童の交通事故や阪神大震災の教訓から、七八六名の児童の命を守ることに心をくだき、毎日出勤しました。そして個性も学力も伸ばすティームティーチングの授業、豊かな心を育む作文教育、カザラツカコンサート等の行事等、全市の先駆けとして取り組みました。平成七年度は学校週五日が月二回実施、「いじめ根絶」が叫ばれる中で、「豊かな心・学ぶ意欲・共にたくましく生きる子」を目標に、人権学習、あいさつ運動、縦割りウォークラリー等、児童中心の取組が印象に残ります。校長室前のポストに「座席を譲ったよ」「しばふの手入れをしているよ」等の手紙を入れる子をうれしく思いました。

桂坂でのすばらしい子供、教職員、保護者、地域の方々との出会いが今の私の力の源です。ありがとうございました。

在任中を思い出すと

第三代校長 村田 喬子



桂坂小学校創立十周年の節目に、その歩みを共に慶び合えますこと、至福の限りです。開校からの十年は、教育にとって激動の年月であったといえます。子どもが抱え持つ問題が複雑化する中で、桂坂小学校は当初より一貫して「次世代の人材を育てる」という役割を地域と担い合つて来られました。

在任中のエピソードをご紹介します。

朝、登校する子ども達を迎えていますと、花びらや木の実、色とりどりの葉を手渡してくれました。喜んで受け取っているうちに、だんだんエスカレーターとしてきて、つばみや小枝になってきました。心配になって、「大切に育てている人に……」という話をしたら、とんでもないことが起こりました。

「おはようございます。この花盗ってもいいですか。」と毎朝押しかけてきたそうです。しばらくして、わたしのもとには「小さな花束」が届くようになりました。通学路の家の方々は、「花作りの楽しみがもうひとつ増えました。」と話してくださいました。有り難い出来事でした。地域に育まれ、世界にはばたく子ども達に幸あれ。



桂坂小学校 PTA会長
片山 健次

創立10周年に寄せて

この度、大きな節目でもある西暦二千年という時期に、京都市立桂坂小学校が創立10周年を迎え、次代の新スタートが出来ましたことを、心よりお喜び申し上げます。

本校は雄大な山麓を背景に緑豊かな大自然と、日当たりのいい丘陵地に建設され、子どもたちはその恵まれた自然環境の中で、健やかにたくましく学校生活を送っています。開校以来多くの皆様に支えられ地域の小学校としての役目を果たして参りました。

そして今日学校教育は、「ゆとりある教育と地域に根ざした教育」をテーマに取り組み、子どもたちが地域での人的関係の深まりを通し、地域に愛着を感じ、地域を守り大切にしていこうとする態度を、育んでいこうとしています。

本校はその様な中で、国際日本文化研究センターの教授をお招きし新しい視野にたった授業が取り組まれています。今後も地域住民の方々の活力を学校教育の場にと、その努力がなされるものと思われます。

私達保護者といたしましても、次代を担う子どもたちの健全育成のため、二十一世紀を生きる子どもたちが、自分の住む街に誇りを持てるように、環境づくりを推進していかなければならないと思います。この度10周年記念として、自治連合会の御尽力により、有名画家の貴重な絵画並びに教材用コンピューターの御寄贈を賜りました。

今後は、教材として又学校の貴重な財産として、子どもたちの教育に多大の貢献をするものと思えます。これも教育に対する地域の皆様の深いご理解、ご支援の賜と深く感謝を申し上げます。今後とも、関係各位の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成9年度 PTA本部役員



■会長 片山 健次 ■副会長 琴浦 良子・千頭 宗子
■会計 岸波 直美 ■庶務 稲垣 恵子・高矢 順子

平成10年度 PTA本部役員



■会長 片山 健次 ■副会長 千頭 宗子・西 升美
■会計 岸波 直美 ■庶務 高矢 順子・門西 聡子

平成11年度 PTA本部役員



■会長 片山 健次 ■副会長 西 升美・浜松 千秋
■会計 市場けい子 ■庶務 門西 聡子・岡村 玲子

平成11年度 PTAの主な活動

P T A

学級委員会

- 親子の集い〈学年別〉
- カザラッカコンサート (11月)
- ベルマーク収集

広報委員会

- 広報紙発行
 - ・第35号 (7月)
 - ・第36号 (12月)
 - ・第37号 (3月)

教養委員会

- 手芸講習会
 - ・第1回 「サンエで作るリース」(6月)
 - ・第2回 「ドライフラワーアレンジメント」(11月)

コーラス部

- ・コーラス交歓会 (10月)
- ・ミニコンサート (3月)

本とお話のクラブ

- ・小学生のためのお話の会 (7月・12月・3月)
- ・昼休み時間の読みきかせ

本部

- 総会 (5月・3月)
- 10周年記念式典 カザラッカコンサート (11月)
- 校門前声かけ運動 (9月・1月)
- 昔あそびとおせんざいの会 (3月)

〈地域の各種 団体と協力〉

- 自転車教室 (7月)
- 防災総合訓練 (11月)

地域委員会

- 旗当番
- 安全パトロール
- 地域懇談会 (6月・2月)
- 町別児童会 (4月・7月・3月)
- 社会見学 (10月) 「盲導犬センターと丹波ワインハウス」
- 古紙回収 (1年間)

保健体育委員会

- 給食試食会 (6月)
- 「エアロビクス」講習会 (12月)
- 給食エブロン点検

バレーボール部

- ・バレーボール交歓会 (9月)

卓球部

- ・卓球交歓会 (10月)

バトミントンサークル

歴代PTA

桂坂小学校創立10周年に寄せて

「山本さん、PTA会長ご苦労さん。」と言われ、おこがましくも創立時から二年間PTA会長を務めさせて頂いたのも、ついこの前のように思い出されます。新しいまちづくりの中での新設小学校であり、初年度は少人数で転校生が少しずつ増えていく状況で、私たちPTAは校長先生や教職員とともに新しい桂坂小学校の歴史を刻もうと意気込んで頑張ってきました。

京都西山の丘陵地に素晴らしい環境にある桂坂小学校ですが、環境としての物だけでなく、こころを大切に子どもたちが育ってくれるよう色々活動してきました。その考えは現PTAに於いても同じ思いで活動されていると思います。

最近の事件、ニュースを聞くたびに、子どもたちに対する教育の原点を見つめ直し、PTAの重要性や地域とのつながりを大切にしなければならないと感じます。

桂坂小学校と地域の益々の発展のため今後も昔と変わらぬ気持ちで子どもたちを見守っていきたくと考えています。

初代PTA会長 山本 哲夫

創立10周年を迎えて

桂坂小学校創立10周年を迎え、心からお祝い申し上げます。

私は平成3年度～5年度の三年間を2代目会長として、本部役員・各委員の多くの方々と一体となり、意義あるPTA活動が出来たと自負しております。というのも初代の山本会長・中西校長で開校時に基盤を作っていた事で、私共の活動が円滑に行えたと思います。そして、多くの方々と知り会えて、多くを得る事ができ、感謝しております。

その後、3代目会長を平手氏に心よく引継いでいただき、ほっとした事が思い出されます。そして、今後も子どもたちが有意義な学校生活を送れるPTA活動ができる事と、桂坂小学校の真の発展を心からお祈り致します。

第2代PTA会長 北川 薫



歴代PTA

10周年によせて

桂坂小学校創立10周年、おめでとうございます。私がPTA会長を務めさせて頂いたのは平成6年から8年の三年間でしたが、会員の皆様や役員、委員の方々のご協力で大変楽しくやれた事を思い出し、改めて感謝しております。

まだ街並も揃わない12年前に開校されたわけですが、初代の校長、PTA会長は大変なご苦勞をされたことと思います。新しい街に新しい学校、この桂坂小学校には伝統は有りませんが自然に恵まれた素晴らしい環境が有ります。街中の学校と比べ交通環境も良く、他校のPTAの方から大変羨ましがられた事を思い出します。

西暦二千年を迎え、世の中もどんどん変わっていきます。生徒数も開校当初からみると倍以上になりましたが、子ども達が自然を愛し、友達を愛し、先生を慕える、そんな素晴らしい環境がこれからも変わらず続くことを願っております。

地域が子どもを育てると申します。桂坂小学校がこれからも地域の皆様に見守られて、次の20周年を迎えられる事を期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

第3代PTA会長 平手 謹一

平成6年度
PTA本部役員



■会長 平手 謹一 ■副会長 朝山 輝子・大野 賀代
■会計 岡西 真代 ■庶務 西野 文子・山口多津栄

平成7年度
PTA本部役員



■会長 平手 謹一 ■副会長 大野 賀代・将野 律子
■会計 市村 優子 ■庶務 山口多津栄・入江 雅子

平成8年度
PTA本部役員



■会長 平手 謹一 ■副会長 将野 律子・琴浦 良子
■会計 市村 優子 ■庶務 入江 雅子・稲垣 恵子

数字でみる桂坂小の10年

※各年度の数字は、各年5月1日調べ

年 度	育成	児童数 (下段は学年学級数)							学級数	
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	合 計	
平成元年		71 2	50 2	53 2	56 2	60 2	64 2	354	12	
平成2年		84 3	94 3	74 2	80 2	82 3	81 2	495	15	
平成3年		87 3	90 3	102 3	82 3	90 3	90 3	541	18	
平成4年		119 3	90 3	102 3	108 3	87 3	96 3	602	18	
平成5年		125 4	134 4	100 3	111 3	121 4	96 3	687	21	
平成6年		110 3	135 4	147 4	116 3	117 3	129 4	754	21	
平成7年		136 4	128 4	142 4	158 4	127 4	127 4	819	24	
平成8年		124 4	142 4	132 4	152 4	165 5	135 4	850	25	
平成9年		121 4	129 4	152 4	141 4	158 4	171 5	872	25	
平成10年	2 1	116 3	125 4	135 4	161 5	149 4	165 5	853	26	
平成11年	3 1	105 3	130 4	141 4	141 4	170 5	158 4	848	25	

10周年を迎えた桂坂小

4月



1年生106名の入学式を行い、全校児童数848名
教職員42名のスタート

9月



トルコ大震災義援金運動

5月



修学旅行 広島・厳島神社

10月



秋の運動会

6月



4年 花背山の家宿泊学習

11月



子ども国際クラブ「民族の文化にふれる集い」に参加

6月



5年 みさきの家宿泊学習

11月



開校当時の様子
湯浅 忍氏

校歌について
松尾隆夫氏

「松らい」の説明
中路融人画伯

7月



朝のおよう隊 児童会本部

12月



日文研「授業」5・6年

教職員 10年のあゆみ

平成元年度



- 三列目
富山 東
藤阪登美子
塩見 裕子
西岡 松枝
丸山 文子
斎藤かえで
巽 由美子
- 二列目
寺尾 公
西村 清子
上坊由美子
沢岡 満子
杉原 貞次
比良岡美智代
内藤 慶子
和田 英明
- 一列目
石田 智子
西川 聖子
岩淵 信明
中西 一孝
高橋 宏光
小林 孝二
三宅 貞志
(敬称略)

平成2年度



- 三列目
小林 孝二
三宅 貞志
寺尾 公
西岡 松枝
佐伯 玲子
岡本登視子
水山 嘉子
西村 清子
- 二列目
富山 東
佐々木昭子
藤阪登美子
沢岡 満子
杉原 貞次
斉藤みゆき
吉田 由紀
北村眞智子
- 一列目
巽 由美子
石田 智子
和田 英明
西川 聖子
中西 一孝
高橋 宏光
岩淵 信明
上坊由美子
塩見 裕子
(敬称略)

平成3年度



- * * *
- 上坊由美子
- 三列目
福田昌史
北村眞智子
岡本登視子
富山 東
斉藤みゆき
栗川清恵
長田雅子
前田かつ枝
杉原貞次
- 二列目
佐々木昭子
清水 君子
西岡 松枝
西川 聖子
西村 清子
塩見 裕子
上村 輝子
荻野 みや
佐伯 玲子
吉田 由紀
三宅 貞志
- 一列目
小林 孝二
西村 清子
寺尾 公
塩見 裕子
中西 一孝
早川 雅雄
石田 智子
正木由美子
和田 英明
(敬称略)

平成4年度



■三列目
前田かつ枝 北村眞智子 小林孝二
谷口 麻里 水山 嘉子 正木由美子
横田枝里花 寺尾 公 和田 英明
福田 昌史 上坊由美子 石田 智子
杉原 貞次 上村 輝子 中西 一孝
清水 君子 萩野 みや 早川 雅雄
富山 東 塩見 裕子 村山 悦子
西岡 松枝 西川 聖子 三宅 貞志
岡本登視子 齊藤みゆき 西村 清子
堀尾 重文 吉田 由紀 (敬称略)

平成5年度



■三列目
福田 昌史 谷口 麻里 和田 英明
堀尾 重文 桂 直子 齊藤みゆき
富田 英治 塩見 裕子 水山 嘉子
寺尾 公 西村 聖子 市場 良祐
杉原 貞次 上村 輝子 早川 雅雄
永田 静枝 上坊由美子 中西 一孝
西岡 松枝 石田 智子 三宅 貞志
岡本登視子 富山 東 村山 悦子
清水 君子 正木由美子 小林 孝二
古里 章子 北村眞智子 (敬称略)

平成6年度



■三列目
富山 東 河崎 仁美 吉見 忠郎
堀尾 重文 西川 聖子 上坊由美子
西岡 松枝 安達 京子 福田 昌史
永田 静枝 寺尾 公 市場 良祐
岡本登視子 吉田 由紀 早川 雅雄
清水 君子 塩見 裕子 寺内 敦子
大林 久栄 谷口 麻里 和田 英明
八木 育子 石田 智子 齊藤みゆき
前田かつ枝 村山 悦子 富田 英治
北村 美香 三宅 貞志 北村眞智子
杉原 貞次 上村 輝子 桂 直子 (敬称略)

平成7年度



* * *

春田 知子 ■三列目

桂 直子 堀尾 重文 今崎 文弥 ■二列目

石田 智子 谷本百合子 安達 京子 北村眞智子 ■一列目

小堀 葉子 前田かつ枝 河崎 仁美 (敬称略)

小垂 喜子 富田 英治 入江 陽子

谷口 麻里 杉原 貞次 清水 君子

永田 静枝 緩詰 研二 木村 純一

岡本登視子 八木 育子 寺内 敦子

大林 久栄 佐伯 玲子 吉見 忠郎

塩見 裕子 北村 美香 上坊由美子

満田美津子 西川 聖子 福田 昌史

村上 智子 齐藤みゆき 吉田 由紀

平成8年度



■三列目

福田 昌史 緩詰 研二 ■二列目

谷本百合子 奥村 公子 草場眞知子

堀尾 重文 塩見 裕子 池地 若菜

菊川 清美 吉見 忠郎 市場 良祐

永田 静枝 伊藤美智子 中村 純一

岡本登視子 中村 金子 村田 喬子

清水 君子 上田みずす 富田 英治

八木 育子 北村 美香 大林 久栄

桂 直子 寺田 恵子 谷口 麻里

満田美津子 坂根 博子 今崎 文弥

村木美也子 小堀 葉子 上村 輝子 (敬称略)

河崎 仁美 前田かつ枝 石田 智子

山本 直樹 小垂 喜子

平成9年度



* * *

安宅 仁美 今崎 文弥 ■三列目

八木 育子 山本 直樹 堀尾 重文 ■二列目

岡本登視子 小垂 喜子 中村 令子 上田 洋子

池地 若菜 寺田 恵子 塩見 裕子

桂 直子 中井裕美枝 十川 修一

扇畑 富恵 毛利 豊和 木村 純一

北村 美香 菊川 清美 吉見 忠郎

谷口 麻里 横井川美紀 村山 悦子

前田かつ枝 伊藤美智子 富田 英治

安達 京子 奥村 公子 緩詰 研二

満田美津子 塩見加寿枝 草場眞知子 (敬称略)

谷本百合子 大林 久栄 東 順

平成10年度



- 四列目
中川 好美
横井川美紀
緩詰 研二
小宮 大輔
藤井 由紀
上田 洋子
加藤 信子
谷本百合子
* * *
扇畑 富恵
北村 美香
堀尾 重文
- 三列目
小林 信子
菊川 清美
清水 君子
岩井 早苗
寺田 恵子
大林 久栄
西川 裕子
富田 英治
吉見 忠郎
福村 一夫
- 二列目
伊藤美智子
久保理也子
満田美津子
安宅 仁美
草場真知子
毛利 豊和
池地 若菜
水澤 博子
春田 知子
坂根 博子
中村 令子
- 一列目
奥村 公子
山本 直樹
今崎 文弥
市場 良祐
赤羽 清
角垣 健美
塩見加寿枝
十川 修一
小垂 喜子
桂 直子
安達 京子
(敬称略)

- * * *
- 坂元 良夫
- 藤田 勝也
- 三木 隆史
- 堀尾 重文
- 横井川美紀
- 小垂 喜子

平成11年度



- 四列目
安宅 仁美
奥村 公子
久保理也子
上田みすず
池地 若菜
廣瀬摩由子
安達 京子
近藤かほる
伊藤美智子
- 三列目
土井 大輔
加藤 信子
岩井 早苗
糸井 裕子
草場真知子
菊川 清美
中川 好美
島田 恵子
谷本百合子
- 二列目
緩詰 研二
足立 明子
西川 裕子
坂根 博子
中村 令子
吉村かすみ
北村 美香
西村 克美
塩見加寿枝
吉見 忠郎
坂下 静枝
- 一列目
大林 久栄
寺田 恵子
今崎 文弥
山本 直樹
市場 良祐
赤羽 清
角垣 健美
満田美津子
十川 修一
水澤 博子
毛利 豊和
(敬称略)



桂坂小学校誕生まで

- 昭和 61 年 4 月 桂坂学区入居開始
洛西中学校、新林小学校へ通学（平成元年3月まで）
- 昭和 63 年 4 月 「大枝中学校・桂坂小学校開設準備室」の設置
準備室長 佐野幸夫
- 昭和 63 年 7 月 「大枝中学校・桂坂小学校開設準備委員会」の発足
- 昭和 63 年 9 月 準備室長 佐野幸夫・中西一孝
- 平成 元 年 4 月 大枝中学校・桂坂小学校開校



桂坂学区が全く新しく開発された地域であったため、小学校、小学校ともに独立新設校として開校することになりました。そのため、地元地域の方々、新林小学校の先生、PTAの方々をメンバーとした、京都市教育委員会では前例のない「大枝中学校・桂坂小学校開設準備室」ならびに「同準備委員会」が設置され、開校準備にあたりました。

開校までの3年間、小学生は、新林小学校にバスまたは徒歩で通学しており、特に朝の通学時には、準備室長、保護者

が協力して安全の確保に努めました。そういった中で、小学校校舎の建設が進み、開校準備委員会では校歌、校章が決められていきました。また、緞帳、グランドピアノ、鳥小屋、観察池、図書の一部などが、地域の方々のご尽力による開発業者からの寄付金で整えられました。このようにして、21世紀に羽ばたく子どもたちをはぐくむ教育の場としてふさわしい小学校が、ここ桂坂に建設されました。

児童数 354 名 教職員数 20 名 学級数 12 (5月1日現在)

第1回卒業生 77 名



待ちに待った開校式 4月5日



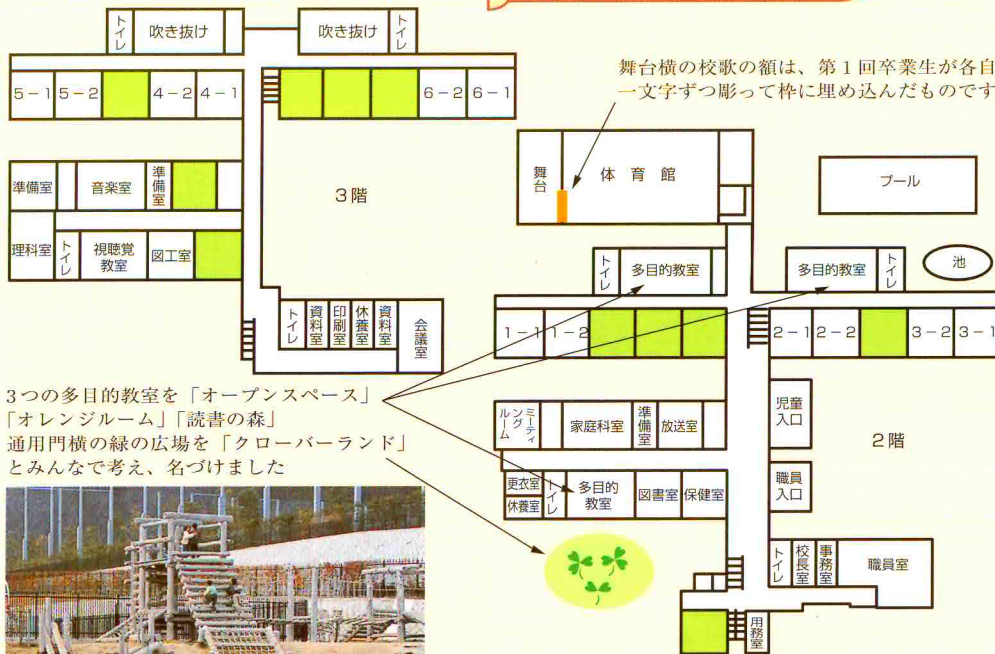
開校式に向けての初めての職員会議は、まだ校舎に入らず、クローバーランドに設置された工事現場のプレハブの一室で行われました。

新林小学校に通っていた子どもたちと開校にあわせて転入してきた子どもたち、そして、いろいろな地域から来られた先生方。新生桂坂小学校のスタートです。

一日でも早く学校に慣れるようにと、新学期早々に、児童会が発足しました。子どもたちがひとりぼっちにならないように、学年を超えた「縦割り教育」にも力を入れました。集団登校には、安全という目的だけでなく、地域での友だちづくりという大切な役割がありました。

学校探検図

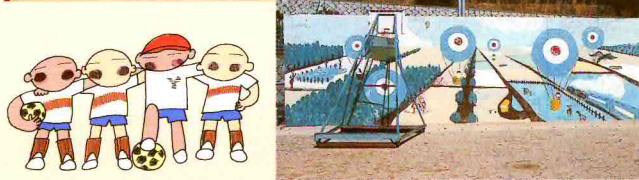
児童数も少なく空き教室(■)もありました



舞台横の校歌の額は、第1回卒業生が各自一文字ずつ彫って枠に埋め込んだものです



3つの多目的教室を「オープンスペース」「オレンジルーム」「読書の森」
通用門横の緑の広場を「クロバーランド」とみんなで考え、名づけました



思い切り遊ぶことは、学習と同様に大切であるという観点から、遊具の設置にも力がいられました。運動場北西には木製のアスレチックがおかれ、子どもたちにたいへん人気がありました。

運動場北側のシュート板も開校1年目に作られました。子どもたちの夢が気球に乗って大きく広がってほしいという願いがこめられています。夏休みに、当時の担任の先生が、汗を流してペンキを塗った心のこもった手作りのシュート板です。

ぴかぴかの小学校* 1年目のおもいで

- * 3階廊下の南北にあるステンドグラスはまぶしいくらいきれいでした。
- * 空き教室がたくさんあり、校内探検や鬼ごっこをしたよ。
- * 修学旅行では前年に開通したばかりの瀬戸大橋が特に素晴らしかったです。
- * 体育館に掲げられた校歌レリーフは卒業記念に第1回卒業生が一文字ずつ彫って作り上げました。
- * クラブは、ソフトサッカー、陸上、卓球、バトン、将棋、科学、手芸、料理、工作しかなかったよ。
- * 3学期始業式には開校1周年を記念して、全校児童で風船をとばしました。晴れわたった青空にみんなの手紙をつけた風船が高く高く上がっていました。

運動会 9月28日

大成功「フットルースイン桂坂」(5・6年生団体競技)



楽しかった修学旅行

10月17日：岡山・18日：倉敷



風船飛ばし 1月8日



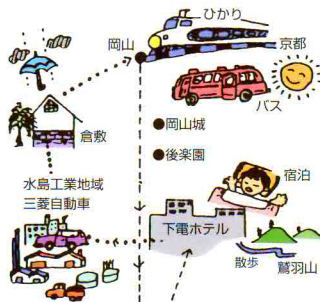


修学旅行 6年生 5月17日・18日 1泊2日

岡山・倉敷方面への旅



岡山・倉敷などについて旅行前に自分たちで資料を集め、しおりや歌集も作成しました。家族旅行ではできない数多くの貴重な体験をし、楽しい思い出がいっぱいの修学旅行となりました。



野外学習 5年生 10月9日~11日 2泊3日

奥志摩みさきの家



太平洋を望む京都市野外教育センター「奥志摩みさきの家」へ出かけました。野外炊事では「すき焼き風煮」をつくり、キャンプファイアー、肝だめし、磯観察など楽しい体験がいっぱい。自然を知り、自然に親しみ、仲間と力をあわせて行動することなどたくさんを学びました。



クローバーランドで給食を



放映されたビデオ画像の一場面より

毎日放送「あまからアベニュー」の給食紹介コーナーで、2年生のクローバーランドでの給食風景が紹介されました。また、10月9日には1年生の保護者を対象とした給食試食会もクローバーランドで開かれました。まだまだクラス数も少なく、順番にクローバーランドを利用して、青空のもとでの給食を楽しみました。

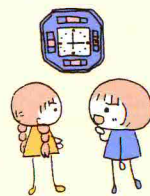
先生と親子のつどい

11月に、担任の先生方をまじえて「親子のつどい」が開かれました。ゲームなどで楽しいひとときを過ごし、親睦を深めました。

- | | |
|----|----------------------|
| 1年 | しっぽとり・ジェンカ・アンパンマンリレー |
| 2年 | さいころに願いをこめて・玉入れ |
| 3年 | ハンカチ落とし・輪ゴムおくり・こおりおに |
| 4年 | 王さんとり |
| 5年 | フォークダンス |
| 6年 | ばくだん・魚島木・フォークダンス |



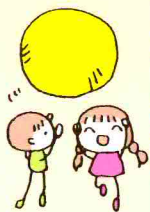
卒業記念品の大時計



正面玄関ホールで毎日時を刻んでいる大時計は、第2回卒業生からの贈り物です。時を告げるたびにオルゴールが楽しい音楽を奏でるとともに、文字板が回転してかわいらしいピエロが登場します。この年の卒業生は自分でデザインした掛け時計を彫りました。

大球3個購入・映画鑑賞会

●廃品回収の収益金で●



廃品回収（古紙回収）の収益金の一部で大球3個を購入しました。秋の運動会の中で大活躍です。

また、地域の方々にも参加していただける行事として映画鑑賞会も開催されました。

- * 「陽のあたる家族」
- * 「みじかくなったエンピツ君」
- * 「くずの葉ぎつね」



風船飛ばしの返事届く

開校1周年を記念して、それぞれが思い思いの手紙をつけて飛ばした風船が風に乗って、たくさんの町や山を越えて行きました。遠く奈良県にまで飛んでいったものもあり、風船を見つけたときの様子やその町のことを書いた丁寧な返事が学校に届きました。

第1回「桂坂クリーン作戦」

学校や地域を愛する心を育てたいという思いから「桂坂クリーン作戦」が実施されました。よく晴れた3月13日の3・4校時、町別児童会に分かれていつも歩く通学路や緑道で紙くず、落ち葉、空き缶などたくさんのごみを拾いました。1年生から6年生まで、みんなの力でたいへんきれいになりました。





「協力指導」のモデル校に

平成2年度から京都市教育委員会の研究推進校に指定され、「協力指導」の実践を積み重ねてきました。従来の学級担任による全教科の指導のよさを残しながら、教師の専門性や特性などを生かした交換授業や、複数の教師が協力して、学年全体を課題別のグループに分けて指導する授業が、1年生から6年生まで、種々の科目で行われました。平成4年2月5日、京都市をはじめ全国から先生方を招いて下表のような研究発表を行いました。

学年	教科	課題
1年	生活科	冬を楽しく過ごそう
2年	生活科	おもちゃ大会をしよう
3年	理科	磁石の極
4年	図画工作科	こま回し(絵画)
5年	家庭科	わたしたちのおやつ
6年	音楽科	合奏の楽しみ

3年生の授業風景



「かつらざかタイム」の取り組み

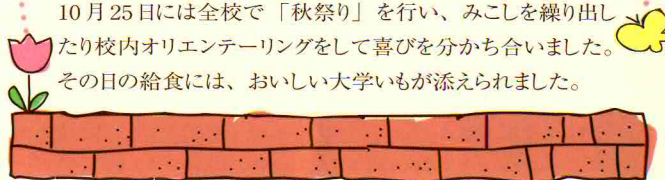
月曜日の朝は、全校児童が集まる朝会で始まります。そのうちに1回程度、「かつらざかタイム」が設けられています。これは、子どもたちが学校での集会活動や体験活動を通して、深く考えたり強く心を動かされたりしたことを発表する時間です。

この取り組みは、子どもたち自身が毎日の学校生活を見つめなおし、思いやりの気持ちをもって、より良い学校生活を築いていけるようにと始められたもので、現在も続いています。

栽培活動の充実

5月に栽培活動の花壇が完成し、学年ごとに、朝顔、ひまわりなどの花々や、トマト、とうもろこしなどの野菜が栽培できるようになりました。

プール北側の学校園では、1・2年生がさつまいもの栽培に取り組みました。これは次年度から新設される生活科への移行期間の指導のひとつで、苗を植え、水やり、草取りなどの世話を続けました。秋には驚くほどの収穫があり、10月25日には全校で「秋祭り」を行い、みこしを練り出したり校内オリエンテーリングをして喜びを分かち合いました。その日の給食には、おいしい大学いもが添えられました。



給食調理室から 当時の調理員さんに伺いました

Q: 当時の給食調理室の様子は?

開校当時から、千人規模の学校になることを想定して建築されていたので、調理室も広く、大釜は6個ありました。

Q: 調理員さんの人数は?

3名で、約600名分を手際よく調理していました。

Q: 子どもたちの人気メニューは?

やはりカレー、シチューでした。ひじき、豆、魚の煮付けは残ることがありました。

栄養面、味付け、できあがり時間、アレルギーのある子への対応等、きめ細かい配慮が今もずっと引き継がれています。



6年生修学旅行 5月22日・23日



新幹線に乗って岡山・倉敷方面へ。ホテルに泊ったことや、後樂園や倉敷での買い物のことなど、思い出がいっぱいできました。

秋の運動会 9月26日



各学年とも3クラスになり、3色対抗の賑やかな応援合戦から始まりました。団体演技は、1・2年生—ダンス、3・4年生—「ソーラン節」、5・6年生—組体操「動そして静」。

こんなこともしたよ

- 春の運動会 5/2
- 社会見学 (5・6年生) 9/7 青少年科学センターへ
- 桂坂クリーン作戦 9/10・2/22
- かつらざかウォークラリー 12/5
- スキー教室 (5・6年生) 1/22 マキノスキー場へ
- スケート教室 (3・4年生) 2/19 エミナースへ

5年生みさきの家 10月12日～14日



台風の雨の中、リュックがぬれないようにビニールでくるんで出発しました。みさきの家では、好天でしたが、キャンプファイヤーは強風のため屋内でした。

学芸会 11月7日・8日



名演技をもちたてる衣装や、背景、小道具、そして工夫された照明に音響と、どの子も主役の学芸会でした。

楽しく活発な活動

開校して3年目を迎え、クラブ、委員会など課外活動の種類も増え充実してきました。

クラブ	バトン・一輪車・バドミントン・陸上・ソフトサッカー・卓球・バスケットボール・ゲーム・科学・創作漫画・料理・手芸・工作・リコーダー
スポーツ教室	バレーボール・テニス・サッカー
委員会	科学・運動・栽培・計画・集会・図書・放送・生活・保健・飼育・新聞・給食・掲示

映画会 1月8日

地域の方々にご協力いただいている古紙回収の収益の一部で、PTAが主催しました。「11ぴきのネコ」が上映され、体育館は子どもたちや保護者、地域の方々でいっぱいになりました。

打楽器による音楽会 2月29日

家庭教育学級として、京都市立芸術大学の先生による講演の後、学生さんたちによるコンサートが開かれました。子どもたちも参加し、「ゆかいな音楽会」を演奏しました。「どんなときも」の大合唱は感動的でした。



「学校賞」受賞

●お話を絵にするコンクール●



「お話を絵」とは、子どもたちが読書で得た感動を自由に画用紙に表現するものです。「お話を絵にするコンクール」にこの年、京都府・滋賀県内の小学校あわせて387校が応募し、学校賞20校の中に桂坂小学校が入りました。

一人ひとりの作品の中から感じられる明るく豊かな感受性、想像力、そして最後まで粘り強く仕上げる姿勢が、学校全体として優秀であることが認められての受賞でした。

ミニ図書館オープン



3学期から多目的教室（オレンジルーム）が「ミニ図書館」になりました。低学年の子どもたちに、楽しい雰囲気の中で本に親しんでほしいという目的です。保護者や地域の方々から寄贈された本300冊がカラフルな本棚に並びました。

卒業記念品 児童活動用掲示板



児童会の各委員会が全校児童に連絡を伝える掲示用黒板は、みんなの目にふれやすい玄関ホール左にあります。

桂坂ウォークラリー



11月21日、小雨の降る中、子どもたちは登校班をもとにした6、7人ごとのグループを組んで学校を出発。校区をめぐる7つのチェックポイントでは、クイズや作品づくり、大なわや輪投げなどのゲームに力をあわせました。

道路の危険な箇所には、PTAが中心となって立ち、黄色い旗で誘導しました=写真。

学校週五日制 始まる



いきいきサタデー

● 9月から月1回、第2土曜日が休業日 ●

- ◎家族や地域の人たちとふれあう。
- ◎ゆとりのあるゆったりとした時間を過ごす。
- ◎自分のしたいことを存分にする。

これらをめざして学校週五日制がスタートしました。

桂坂小学校では、子どもたちが休業土曜日をどのように過ごしているのか知るために「ふれあいカード」を作りました。また休業土曜日の授業時間数をほかの日に上乘せしないため、学校行事の精選や運動会・学芸会の練習時間の削減などが行われました。

実施に先がけて6月13日(土)を「ノーかばんデー」とし、子どもたちは手ぶらで登校。音楽鑑賞会が開かれました。

生活科(1・2年) 始まる

この年から1・2年の理科・社会科が「生活科」となりました。活動や体験を通して、自分と身近な社会や自然との関わりに関心を持ち、生活に必要な知識や方法を身につけることがねらいです。子どもたちの興味関心に根ざした柔軟な学習活動がスタートしました。

子ども郵便局(2年生)

それまでの社会科の「働く人々」は、実際の郵便局をもとにして仕事ぶりを学習していました。生活科では子どもたちを中心に考え、「子ども郵便局をつくろう」「それじゃ、はがきや切手、それに配達するには?」と子どもたちの発想を大切にしながら、郵便の仕組みを学んでいきました。



オレンジルームで、はがきにスタンプを押す子ども郵便局員



玄関ホールに手作り郵便ポスト

★地球環境サミット(6月)

ブラジルで開かれた環境と開発の国連会議。地球温暖化防止条約などが調印されました。

★バルセロナ夏季オリンピック(7~8月)

172カ国参加。水泳の岩崎選手、マラソンの有森選手らが活躍しました。

★毛利衛さん宇宙へ(9月)

スペースシャトル「エンデバー」から、毛利さんが子どもたちに向けて「宇宙授業」をしました。

学校週五日制を受けて休業となった土曜日は「いきいきサタデー」と名づけられました。

桂坂の子どもたちの過ごし方については地域全体で考えようと、PTAを中心に自治連合会・地域各種団体で「いきいきサタデー推進委員会」が発足、下のようなささまざまな取り組みが始まりました。

9月12日 校庭・プール開放

学校週五日制の実施で初めての休業土曜日。プールでは家族で泳ぐ姿、校庭では親子でキャッチボールやアスレチックなど、約200人でにぎわいました。

11月14日 映画鑑賞会

古紙回収の収益の一部で、PTA主催の映画「わんぱく冒険旅行」他2本が上映されました。映画の後は体育館や校庭でバレーボール・テニス・ドッジボールと、学年を越えて「親子ふれあいスポーツ」が行われました。

12月12日 一輪車・ドッジボール・ターザンロープ開放

1月9日 おぜんざいの会

寒い日にもかかわらず多数の参加がありました。体育館では百人一首やすごろく、校庭では凧あげと、思い切り遊んだ後はPTAが準備した「おぜんざい」を食べてあたたまりました。



クローバーランドで用意された「おぜんざい」には長い列が

2月13日 耐寒ハイキング

少年補導桂坂支部主催のハイキングは、桂坂周辺約6km、2時間余りの道のりでした。学校に戻ってからの「豚汁」にはおかわりの列ができました。



桂坂野鳥園の裏山を元気に登る子どもたち

3月13日 昔の遊び(山の手倶楽部主催)

こんなことがあったね

児童数 687名、教職員数 32名、学級数 21 (5月1日現在)

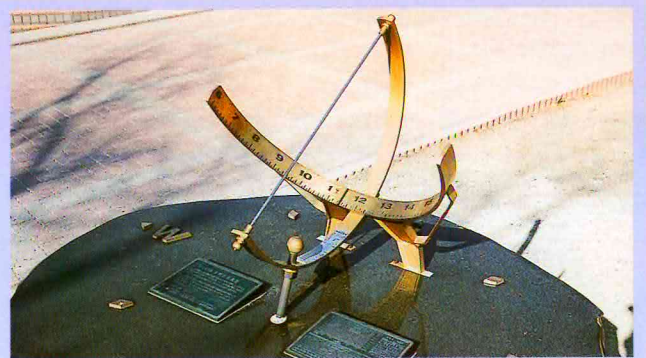
第5回卒業生 96名



創立5周年記念事業 〈日時計〉

創立5周年の記念として古紙回収の収益金から日時計が贈られました。3月8日に除幕式が行われ、つどいの広場東側の運動場を見下ろす場所に置かれました。

すばらしい石の台に設置されたこの日時計は、天気の良い日には、はっきりと時刻を示します。



ティームティーチング (T.T.) はじまる

平成5年9月より学級・学年で担任の他に1名を加えたティームティーチングが始まりました。

1年生と3年生は、本校にて西京西支部の研究発表を行い、子どもたちのいきいきとした学習活動を他校の先生方に見ていただきました。また2年生と6年生は、校内発表として取り組みました。

やきいもパーティの
かんばんをつくらう!



●平成5年T.T.による授業●

- 1年 生活科 おおきくなったね
—さつまいもを育てよう—
- 2年 生活科 いちごができたよ。うれしいなあ
- 3年 社会科 京都市で作り出されるもの
農家の人々のしごと・大枝の柿づくり
- 6年 算数科 比例と反比例



いもパズルを
つくろう!





花背山の家

京都市野外教育センター「花背山の家」が平成5年4月1日にオープンしました。自然を愛する心を養い、いのちの大切さを学びとることを目標としています。又、寝食を共にする集団宿泊活動を通して、友情を深めあい、社会性を身につけることによって、人間尊重の心を高めることも大きなねらいとして取り組みました。

4年生は木の香りもすがすがしいオープンしてまもない山の家へ5月28日・29日に行きました。また6年生は卒業遠足として12月8日・9日に行き、4年生、6年生共に豊かな自然の中で、オリエンテーリング・星の観察・ちまき作りなどの楽しい野外活動を行いました。

平成6年も4年生、6年生がそれぞれ参加し、平成7年度からは4年生の恒例の宿泊学習になりました。



いきいきサタデーの催し

6月12日(土) 山の手倶楽部によるイベント

平成4年9月に発足した山の手倶楽部のみなさんと色々な遊びを楽しみました。

将棋・ピンボール・クロリティ(わなげ)・竹馬・まりつき・竹返し・広告で作る蝶・ゲートボール・おじゃみ・大縄跳び・折り紙・いも版

10月9日(土) オーケストラとあそびましょう

市立堀川高等学校音楽科オーケストラによる演奏会。「大ホール」と変身した体育館は超満員の音楽ファンで埋まりました。

11月13日(土) 映画会「北極のムーシカ・ミーシカ」

地域の方々とのふれあいの場として古紙回収の収益金の一部でアニメ映画が上映されました。



©日活・虫プロ

1月15日(土) 昔の遊びとおぜんざいの会

たこあげや竹馬などを親子で楽しみました。

こんなところへ行ったよ

修学旅行(6年生) 5月20日・21日

1日目 岡山城・後楽園・瀬戸大橋・鷺羽山

2日目 三菱自動車工場見学・倉敷美観地区



わあ おいしそうだなあ!

みさきの家(5年生) 10月25日~27日



みんなで力を合わせて作った「すき焼き風煮」、浦山ラリー、磯観察…。

様々な野外活動を通じて自然の大切さや友だちと助けあうすばらしさを学びました。

社会見学(5年生) 11月24日

大阪ガス科学館 新日鉄堺工場

スキー教室(5・6年生) 1月28日

マキノスキー場



スケート教室(3・4年生) 2月16日

高野アリーナ

卒業記念品 マチスの絵(複製画)

3階の廊下西側の壁にあります。



「ジャズ」より「イカルス」「馬・女曲馬師・道化師」

児童数 754 名、教職員数 33 名、学級数 21 (5月1日現在)

第6回卒業生 135名



充実した小学校生活

- 開校当初354名でスタートした児童数も、5年を経て754名に増え、北側校舎に加えて、図工室と空き教室が普通教室として使われました。
- 専任の先生が来られ、チームティーチングも積極的に行われました。子どもたちにはわかりやすい授業だと好評でした。
- 通知表に相対評価が取り入れられ、到達度評価とあわせて見ると、子どもたちの学力がよりわかりやすくなりました。
- スポーツ教室では、バスケット部が新たに加わり、さらに充実しました。
- 6月には、韓国から約30名の教育関係者が視察に訪れました。つどいの広場で3年生が中心となって歓迎のセレモニーを開き、ハンゲルで挨拶しました。
- 「うるおい教育」の一環としてトランペットとトロンボーンを購入しました。市立堀川高等学校音楽科の先生に楽器の持ち方や呼吸法、吹き方などを指導していただきました。
- 3月には開校時に入学した子どもたちが桂坂小学校を卒業しました。

楽器指導 1月17日

音が出るかな



いい名前だね！カザラッカコンサート

カザラッカコンサート



平成6年度ポスター

平成5年度に「オーケストラとあそびましょう」と題してPTAの主催で開催された音楽会は、たいへん好評だったため、平成6年11月12日には、桂坂を反対から読んで、「カザラッカコンサート」と名前を変えて開かれました。子どもたちや保護者だけでなく、地域の方々もあわせて約700人が秋の半日、フルオーケストラの奏る音楽に酔いしれました。

市立堀川高等学校音楽科のご好意で平成6年度以降、PTAの恒例の行事として、毎年11月の第2土曜日に開かれています。



校長先生からのメッセージ



日頃じかに接することの少ない校長先生からは、「きりん」のタイトルで、子どもたちにメッセージが送られました。「きりん」には、書くことを重視されていた先生の願いや思いだけでなく、子どもたちの作文、投書も載せられました。このお便りは学校の正面玄関に置かれ、子どもたちは、自由に取って読むことができました。

校長室の入口の前には、投書箱が置かれ、子どもたちはクラスの様子や社会見学、遠足などの様子を書いて校長先生に送り、交流を深めました。

また、PTAの広報誌にも、美しい絵と先生の言葉が載せられ、好評を博しました。



空き缶リサイクルの始まり

—エコ・リーダーの先駆者たち—



5年生が家庭科の授業の一環として、「生活の自立」、「自然の素晴らしさ」から環境問題を考えようと学年全体で空き缶の回収に取り組みました。

夏休みの登校日に、回収した空き缶を使って、子どもたちが金閣寺、宇宙ステーション、恐竜の3つのテーマでオブジェを作りました。オブジェ作りでは、押しつぶした空き缶を接着剤でくっつけたり、針金でつなぎ合わせたりと思ったより大変でした。その後回収した空き缶を廃品回収業者に引き取ってもらい、資源をリサイクルすることを学びました。

平成6年度は5年生だけでしたが、翌年この取り組みは児童会で検討され、学校全体の活動へと発展しました。平成9年度からは環境委員会が設定され、空き缶だけでなく牛乳パック、乾電池も回収しています。またリサイクル資源の回収による収益はユニセフへの募金となっています。

夏休みのオブジェ作り



おもいでのスナップ



楽しかった修学旅行

5月19日:岡山 20日:倉敷
鷺羽山から見た瀬戸大橋の夜景は
とてもきれいでした



秋の運動会

9月28日
力を一つにして
めざせチーム優勝!!



学芸会

11月10日・11日
脚本作り、監督、出演
6年生は大活躍



阪神淡路大震災

平成7年1月17日 午前5時46分 神戸を中心として、西宮、芦屋、宝塚、淡路島北部でM7.2の大きな地震が起こりました。死者6,432人、負傷者43,792人、倒壊家屋512,880棟(自治省消防庁)、幹線道路の寸断など被害総額は9兆9,600億円(国土庁防災局)を超える大惨事となり、被災状況が終日、全国に放映されました。

桂坂小学校は幸いなことに、全く被害がなく、当日も平常授業が行われました。

僕たち、私たちにも何かできることはないかと、児童会が中心になって義援金を集めました。1月の寒い時期でしたが、登校時に、校門のところに立って募金活動をしました。みんなの協力のおかげで277,664円が集まり、京都新聞社を通じて被災地へ送りました。その後2年間にわたって児童会が中心となって義援金を集めました。

桂坂小学校にも被災のために一時通学しているお友達も8人いましたが、みんなと仲良く勉強できました。

3学期に地震と火災を想定した避難訓練が行われました。大きな被害のあった震災の後だけに、子どもたちも真剣に取り組みました。天災の恐ろしさを目の当たりにすると同時に、急な災害に対して、いかに無防備であったかを実感した痛ましい震災でした。

児童数 819 名、教職員数 36 名、学級数 24 (5月1日現在)

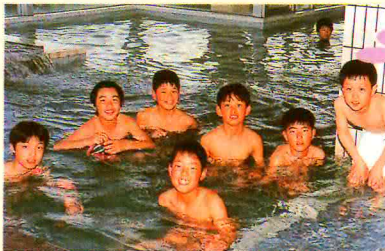
第7回卒業生 131名



修学旅行 6年生 5月18日・19日

岡山・倉敷方面

学校から貸切りバスに乗って、ガイドさんと一緒に歌をうたったり、ゲームを楽しみながら岡山に向かいました。長時間のバスの旅にもかかわらず、元気に到着。瀬戸大橋、自動車工場などを見学しました。2500円のごづかいを如何にうまく使うかという楽しみも味わいました。



いい湯だな

おみやげは何にしようかな?



みさきの家 5年生 11月6日~8日



本番に備えてクローバーランドで炊飯の練習をしました。(10月27日)



いよいよ本番。練習どおりうまくできるかな。

学校週五日制が月2回に

平成4年9月から始まった学校週五日制が、この年の4月より、これまでの第2土曜日に加え、新たに第4土曜日も休業日となり、月2回に増えました。

ぼくたち・わたしたちのコンピューター

情報化時代を迎え、学校教育の中でもコンピューターを使った学習の必要性が高まる中、他校に先がけて11月にコンピューター7台が導入されました。まず、卒業をひかえた6年生を中心に、名称を覚えたり、マウスの操作に慣れるために、ゲームを楽しんだりして少しずつ活用が始まりました。

平安騎馬隊来る 9月23日

「西京区民交通安全の集い」が桂坂小学校で開催されました。各学区から約600人の参加者を迎え、桂坂小学校のメロディークラブの演奏で始まりました。交通安全教室の後、京都府警音楽隊の演奏、カラーガード隊、平安騎馬隊の演技が行われ、華やかな各隊を先頭に学区内でパレードが行われました。また、子供たち約100人が騎馬体験をして楽しい思い出を作りました。



大雪の桂坂

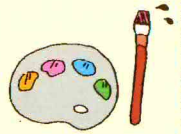
12月25日、大雪が降りました。門が開かないほどの積雪で、お湯とスコップでの雪かきの末ようやく門が開きました。雪がよく降ったこの年の冬、先生方や用務員さんはいつも長靴を用意し、子供たちの登校前に雪かきをしました。子どもたちは、学校でも雪だるまやかまくらを作り、雪合戦などをして雪遊びを楽しみました。



学校賞受賞

●お話を絵にするコンクール●

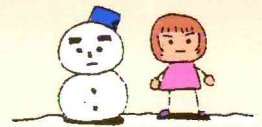
担任の先生の読み聞かせから、物語のイメージをふくらませ、子どもたちが自由にのびのびと描いた「お話の絵」。個人での入賞が6点、佳作には16点が選ばれ、学校全体としても想像力、感受性の豊かさが評価されて「学校賞」にかがやきました。



校内作品展

●2月20日～22日●

お話を絵をはじめとして、子どもたちの楽しくいきいきとした絵画や、ていねいに仕上げられた作品が出品されました。西養護学校の子供たちの作品も出品されて、多くの方に見ていただきました。



最後のスキー教室 2月7日

前夜、桂坂は雪が降り実施が危ぶまれたのですが、当日の朝は快晴となり、バスの中は、子供たちの笑い声でいっぱいとなりました。ところが、マキノスキー場は利用する学校も多く、大変混雑していて、子供たちからは「リフトに乗せて」「しんどい」と不満の声続出。スキーより雪合戦のほうに人気がありました。





国際日本文化研究センターの教授陣による授業が実現

教授陣と授業内容 (敬称略)



河合先生の授業風景 体育館にて

講 師 名	専 門	授業のテーマ	クラス
河 合 隼 雄	臨床心理学	道 徳	6-1
尾 本 恵 市	自然人類学	自然に学ぶ	6-2
山 折 哲 雄	宗教史・思想史	宮 沢 賢 治	6-3
梅 原 猛	哲 学	学問の楽しさ	6-4
木 村 汎	ロシア政治学	交 渉	5-1
芳 賀 徹	比較文化史	俳 句	5-2
安 田 喜 憲	環境考古学・地理学	地 中 の 花 粉	5-3
井 波 律 子	中国文学	三 国 志	5-4
山 田 慶 兒	科学技術史	時 を 計 る	5-5

桂坂小学校では、従来から、地域の教育力を学校に取り込むとともに、地域に働きかけるという「体験学習」が進められ、西養護学校との交流、伝統産業や史跡・文化の学習が取り入れられていました。このような体験学習の一環として、隣接する日文研の先生方による特別授業を、1学期には6年生、2学期には5年生が受けることになりました。これは当時の校長先生の発案で、河合隼雄所長をはじめ高名な教授陣が快諾されて実現したものです。講演ではなく、一クラスの小学生に「出前授業」をするという画期的な取り組みは、先生方にとっても、新鮮で緊張感のあるものでした。

教育界に新しい風を吹き込むこの取り組みは、次年度以降も継続して行われています。子どもたちは、先生方の知識や学問への情熱に直接触れ、しっかりと“大切な何か”を感じとったことでしょう。

授業内容は「小学生に授業」という文庫本になり、平成10年6月に小学館から出版されました。



0-157 猛威を振るう

5月から8月にかけて、病原性大腸菌O-157による食中毒が全国各地で発生し、特に大阪府堺市では、多数の感染者が出ました。学校では、感染防止のために夏休み中のプールの使用が中止になったり、いろいろな行事に影響が出ました。

学校給食が集団感染の原因となる可能性もあるため、施設や調理方法の改善が図られました。京都市ではいち早く完全加熱調理が実施されていましたが、新たに物資を保管する冷凍冷蔵庫、野菜を三度洗いするための洗い槽、調理器具を入れる大型の殺菌庫が入りました。調理室内全体の消毒が徹底して行われるようになりました。

子どもたちにも、ひじから先を石鹸で洗う「正しい手洗い」が、繰り返し指導されました。

6年生修学旅行 5月22日・23日



瀬戸大橋・与島・琴平・鳴門大橋・淡路島牧場へ行き、牧場では、熱心にチーズ作りや乳しぼりの体験学習をしました。

運動会 10月6日



7月に米国アトランタで第26回オリンピックが開催されたのになんで、4年生は「アトランタの夢'96」と題した団体演技を行いました。

学芸会 11月19日・20日



初めての学芸会で、日々の練習の成果を披露する1年生。心一つにして、小さな体でのびのびと叩く太鼓の音は、聴く者に大きな感動を与えてくれました。

大文字駅伝 初出場で見事3位入賞!



平成8年12月に行われた、大文字駅伝大会西京西支部予選会では、強豪チームをおさえ1位に輝きました。9月から練習を積み重ね、確実に実力をつけてきた子どもたちは、冬休みも返上し、全力で練習に取り組んでいました。学校の先生方、保護者、地域の方々の熱い声援を受けて、平成9年1月26日の本大会では、りっぱな力走を見せてくれました。

乾電池の回収が始まる

1月から「環境を思いやる暮らしづくり」を目的に、自治連合会と学校が協力して乾電池の回収をはじめました。2週間回収箱の重さは100kgにもなりました。

また、児童会のアルミ缶の回収は平成6年度から続いていますが、この年の7月、アルミ缶をつぶす機械が入り、「カバちゃん」と名づけられました。一人ひとりが持ってきた缶を自分でつぶせるようになりました。

校内持久走・駅伝大会 2月18日～20日

「最近の子どもたちは基礎体力が落ちていて、持久走が苦手」、そう感じていた体育主任の先生が、体育の時間に取り組んでいた持久走に、何か目当てを持たせようと提案しました。低学年は持久走大会、高学年は駅伝大会を開くことになり、大会の3週間前から練習をはじめました。毎日中間休みに運動場や校舎の周りを走り、学年ごとの「がんばりカード」に走った距離を記録しました。本番では寒風の中、それぞれが自分の力を出し切って走りぬきました。

次年度以降もこの取り組みは続けられ、「がんばりカード」は、桂坂を出発して京都市内を一周するといふ楽しいものになりました。



「何でもやったんで隊」できる

2月、卒業を前にした6年生全員で結成しました。毎日、その日の当番24人が「何でもやったんで隊」のたすきをかけ、中間休みとお昼の休み時間に、下級生の相談にのったり、一緒に遊んだり活躍しました。

平成9年度

1997.4 ~ 1998.3

児童数 872 名、教職員数 39 名、学級数 25 (5月1日現在)

第9回卒業生 170名



エコ・グランプリ受賞

ジュニア地球環境会議 こどもエコ・リーダー



この年度にできた環境委員会を中心に、アルミ缶・乾電池・牛乳パックの回収、グリーンマーク集めなどの活動が盛んに行われました。環境への関心を高めた子どもたちの、主体的で積極的な取り組みが認められて「エコ・グランプリ」を受賞、11月1日に京都国際会館で表彰されました。

「何でもやったんで隊」結成

3月4日～3月13日



卒業を前にした6年生の子どもたちが、縦割活動であるフレンドリーグループのリーダーとして身につけた力を生かし、校内ボランティアに取り組みました。

「何でもやったんで隊」は休み時間や放課後をフル活用。下級生の希望に応じ一緒にサッカーをしたり、大なわ回しや本の読み聞かせをしたり、トランペットの吹き方や逆上がりを教えたりと幅広く活躍しました。

修学旅行 5月15日・16日

瀬戸大橋を渡って、琴平で一泊。淡路島牧場では、乳しほりを体験しました。

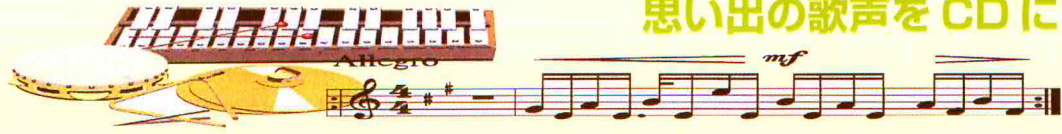


大文字駅伝 3位入賞



この時期大流行したインフルエンザに悩まされながらも、厳しい練習に耐えて迎えた2月8日。みぞれまじりの冷たい風が吹く悪天候の中、一人ひとりの力強い走りですすきをつなぎ、みごと3位でゴールしました。

思い出の歌声をCDに



この年の4年生は学年全体で合唱に取り組みました。

1学期、週1時間の合同練習が始まりました。最初は地声で歌っていた子どもたちも、4年生の発達段階にあわせて腹式呼吸や裏声、頭声的発声の訓練を積み重ねていくうちに、次第にやわらかい響きの歌声に変わっていきました。

2学期に、学芸会や「カザラッカコンサート」で練習の成果を発表しました。11月には毎年行われている京都市学童大音楽会に、桂坂小学校の児童として初めて出演。舞台袖に帰ってきた子どもたちは、頬を真っ赤にして「ぜんぜん緊張せえへんかった」「もっと歌いたい」と声を弾ませました。大きな舞台をこなし、素晴らしい歌声をいろいろな人からほめられて大きな自信をつけました。

3学期、4年生の団結を記念に残そうと、CDを制作することになりました。2月末に京都市立音楽高等学校のホールを借りて録音しました。4年生最後の修了式の日、完成したCDを受け取った子どもたちは大喜びでした。



第52回京都市学童大音楽会。11月22日、京都府会館第1ホールには桂坂小学校4年生の天使の歌声が響きました。

合唱の思い出 CDに残った

西京・桂坂小4年

**ステージを重ね
持ち歌19曲収録**

桂坂小4年百四十二人の合唱は、西京区藤原の桂坂小4年生が、学芸会や音楽発表会を通して思い出のハートフルの歌声を形に残して、交流のある京都市立音楽高等学校のホールを借りて録音し、CDを完成させた。

一年間、合唱クラスに取り組み、西京区藤原の桂坂小4年生が、学芸会や音楽発表会を通して思い出のハートフルの歌声を形に残して、交流のある京都市立音楽高等学校のホールを借りて録音し、CDを完成させた。

収録したCDは、先月二十三日、近隣の市立音楽高等学校のホールを借り、半日かけて録音された。在る約二百枚が仕上がった。CDは、学芸会や音楽発表会などで、子どもたちの思い出の歌声を形に残して、交流のある京都市立音楽高等学校のホールを借りて録音し、CDを完成させた。

京都新聞(1998年3月25日)

「安全パトロール」 始まる

神戸の小学生殺害事件や奈良県の中学生連れ去り事件など、子どもを巻き込んだ痛ましい事件が絶たない状況に、PTAとして活動できることを検討した結果、2学期から下校時の「安全パトロール」が開始されました。

パトロールは地域の実情にあわせて、各町内の公園や緑道、通学路などを下校時に当番制で巡回することになりました。

不審者等の事件に迅速に対応できると同時に、地域で子どもたちの安全を守っていることがアピールでき、痴漢などの被害報告が減りました。



PTAの黄色い腕章に桂警察署からの緑のたすき。巡回する会員の姿はとても目立ち、防犯に大きく役立っています

人権学習「なかよしの日」



「自分のこと、他人のことを認め、尊重しあえる豊かな心」を育てる心の学習として、毎月「なかよしの日」ふれて・感じて・考える」が設けられました。

- 5月29日 日本に一番近い国「朝鮮」の文化や歴史
- 6月16日 障害のある友だちと①
- 7月 9日 わたしたちのからだ(自分の体やその成長)
- 9月16日 障害のある友だちと②(友だちのよいとこ)
- 10月15日 力を合わせる喜び
- 11月26日 わたしと人権月間
- 12月16日 自分のこと・他の人のことを大切にする桂坂
- 1月16日 障害のある友だちと③
- 2月16日 わたしたちのいのち(性教育)
- 3月16日 ありがとう(感謝の気持ちを育てる)

☆もののけ姫(7月)

日本映画史上最高の配給収入を記録し、世界各国でも公開されました。

☆「たまごっち」ブーム

6月に「英語版たまごっち」も発売されて、世界中でヒット。「携帯型ゲーム機」が大流行しました。

☆長野冬季オリンピック(2月)

72か国参加。スピードスケートの清水選手やスキージャンプ陣が活躍しました。

こんなことがあったね

児童数 853 名、教職員数 40 名、学級数 26 (5月1日現在)

第10回卒業生 166名



桂坂に初めての信号機

—小学校南東交差点に—



11月24日、信号機の点灯式と渡り初めが行われました。1年生の子どもたちが参加し、桂警察署の交通課の課長さんと交通巡視員さんに花束が贈られました。巡視員さんから信号の正しい渡り方を教えてもらい、そのあと1クラスずつ元気に信号を渡りました。

桂坂小学校ホームページ



<http://www.edu.city.kyoto.jp/hip/katsurazaka-s>

——ホームページ担当の先生に聞きました——

桂坂小学校のホームページは平成10年10月1日に開設し、それから毎月約1000件のアクセスがあります。(平成10年12月現在で総アクセス数は約13000件)このホームページを見て保護者や親戚の方、他の都道府県の学校の児童や学校関係者から電子メールが次々と寄せられています。またアメリカでも見ているとの電子メールがとどいたこともありました。

ホームページの内容は大きく分けて4つあります。「学校紹介」「桂坂ニュース」「子どもの作品」「学習のコーナー」です。これらの内容を毎月5回から10回程度更新することにより学校での子どもたちの様子がわかるようにしています。また平成11年度からは児童自身がホームページを作成して発信する実践も始めました。特に6年生は自分が興味のある事項について調べ学習をしてホームページを作り、発信する取り組みをしています。このような取り組みを通して児童に情報活用の実践力を養いたいと考えています。

やまゆり学級開設 (育成学級)



桂坂小学校区内の育成児童は境谷小学校の育成学級に通うことになっていました。そんな中、桂坂小学校内にも育成学級開設の計画が進みました。

桂坂小学校は年々児童数が増え続け、空き教室のない中、どこに育成学級を設置するか難しい課題でした。育成学級を開設するには、様々な活動がのびのびできる、落ち着いて学習が出来る、全校児童と身近に接することができるなど、いろいろな条件を満たさなければなりません。そこで考えられたのが、多目的教室(読書の森)と図書室でした。その2教室を改修して、育成学級の教室とプレイルームをつくることとなりました。

平成10年度、育成学級は男女1名ずつの1年生を迎え、「やまゆり学級」として開設されました。入学式、始業式の中で、校長先生より紹介・説明があり、全校児童は障害のある子どもたちを理解しつつ、ともに仲良く元気に学校生活を送ることとなりました。

これから21世紀を生き抜いていく子どもたちが障害のある人についての理解を深め、互いに学びあい、共に豊かに生きていく社会を築いていってほしいものです。

修学旅行 5月27日・28日

今年は広島へ



1日目は広島市内で原爆ドーム・原爆資料館を見学し、被爆体験談を聞きました。2日目は宮島を観光して水族館へも行きました。



いこいの間



3階の渡り廊下の一角に先生方の手作りによる読書コーナーができました。床には読書の森で使っていたカーペットが敷かれ、手作りの本棚には本が並んで、休み時間には子どもたちで賑わっています。冬にはこたつも入ります。



平成12年11月撮影

おめでとう準優勝

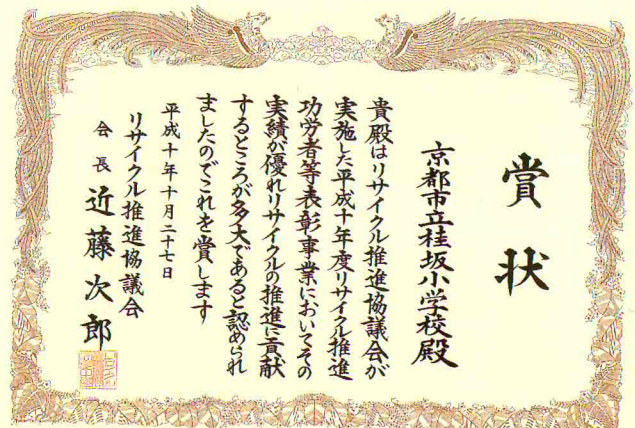
第13回大文字駅伝 2月7日

2月の都大路を走り抜いたみんなの顔は力を出し切った満足感にあふれ、喜びに輝いていました。



リサイクル推進協会会長賞受賞

1クラスの提案から始まった活動が大きく根を張り昨年は子どもたち、今年も学校が賞を受けました。



記念式典



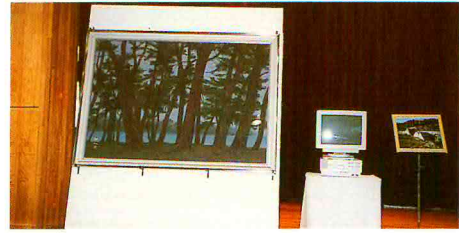
祝辞 京都市長 京都市教育委員会 総務部担当部長
大山輝美様より代読



児童会代表委員会より
「桂坂小学校10年の歩み」を发表



「地域学習発表会」子どもたちが桂坂の地域を調べ発表。地域の方々にも公開



記念品贈呈 絵画「松らい」中路融人氏
「コンピュータ」桂坂自治連合会
「アスレチック」10周年記念事業実行委員会



全校児童863名が体育館に入り、お祝い



「地域学習発表会」
洛西ケーブルビジョン (RCV) も取材

カザラッカコンサート 記念式典・同窓会



桂坂小学校創立10周年記念
第7回カザラッカコンサート
京都市立音楽高等学校オーケストラ 指揮 蔵野雅彦氏



ピアノ演奏 ピアニスト 岡原慎也氏 (桂坂在住)



歴代校長、歴代PTA会長を招いて記念式典開催



同窓会 第1回卒業生挨拶



同窓会に来てくれた卒業生たち



露店も大にぎわい